

低位前方切除術入院診療計画書

経過 月・日	外来から手術前々日	手術前日	手術当日(前)	手術当日(後)	術後1日目	術後2～3日目	術後4～5日目	術後6～7日目	術後8～9日目	術後10日目(退院)
	()様 指示医() 主治医氏名() 印) 看護師()									
検査・治療・処置	回診: 毎日 採血・心電図・レントゲン・肺機能 24時間蓄尿・超音波・胃カメラ 大腸カメラ・注腸造影・CT ※手術前日まで上記の外來で済まれている検査が入ります その都度看護師がお知らせします 			・酸素マスク・心電図モニターがついてきます ・お腹に管がはいつてきます ・鼻から管が入ってきます ・ガーゼ交換をします 手術後2～4時間ごとに検温します	採血・レントゲンがあります → はずします → 管を抜きます → 医師によるガーゼ交換があります	採血(3日目) ガーゼを取ります		採血(7日目) 管を抜きます	7日目にホッチキスのようなものが半分取れます ↓ 8日目に全部取れます	予定日 / 発熱がなく、創の状態が良好で、排便のコントロールができていれば退院可能です 
薬	飲まれているお薬を確認します 眠前に下剤を飲んでいただきます	10時から腸洗浄剤を2リットル飲んでいただき、便がきれいになったら、点滴を始めます	手術室入室30分前に 抗生剤の点滴をします (麻酔導入の注射をします) 手術前日から引き続き24時間点滴を行います 背中から痛み止めの薬の入ったチューブが入ってきます	抗生剤の点滴が1日2回(朝夕)あります 手術前日から引き続き24時間点滴を行います 背中から痛み止めの薬の入ったチューブが入ってきます				点滴が抜けます 背中から入っているチューブが抜けます		
食事	普通の食事を取ることができます ※検査のため欠食や変更する場合があります	食事は朝食までです 水分は21時までです	水分や食事を取ることは出来ません (うがい・歯磨きはできます) 許可が出来ます。水分を取ることができます。	許しが出来ます。水分を取ることができます。 【体を動かしていきます】 ①ベッド上で座りましょう ②ベッドの端に座りましょう ③トイレまで歩いてみましょう ④看護師付添いで病棟を歩いてみましょう 	2日目昼から流動食が出ます。 4日目昼から5分粥が出ます。 6日目昼から全粥が出ます。 8日目昼から普通食が出ます。 栄養指導がありますので家族の方の都合のつく日に一緒に指導をうけていただきます 					
活動	制限はありません		手術室入室30分前は ベッド上安静です	ベッド上で動いて良いです 付き添いの方は患者様の足をマッサージして下さい (足先から中央へ)			特に制限はありません。 傷の早期回復やお腹の働きを助けるために散歩などをしてください			
排泄	*希に人工肛門造設の可能性があります。		入室30分前までに排尿を済ませておいて下さい	尿を出すための管が入ってきます (手術室で行います)	→ 管を抜きます しばらく尿を貯めてもらいます (3日目まで)		便は出ていますか? 便の調整をしていきます			
清潔	入浴できます 手術する部位の毛を 除毛します その後、入浴してください つめ切り、髭剃り(男性)も済ませておいて下さい	手術衣に着替えます 		身体を拭きます 寝巻きに着替えます 	3日目から シャワー浴できます。 背中に管が入っている場合は看護師にお尋ねください。 		8日目 ホッチキスのようなものが全部取れたら入浴できます	退院となります 次回の外来予約や退院計算は看護師がお知らせします		
説明・指導	看護師が必要物品や手術前後の経過について説明します 呼吸訓練を始めます (風船をふくらます練習をしてください) 禁煙してください 	外科医および麻酔科医が手術や麻酔について説明します	義歯・指輪・時計・アクセサリー・ヘアピンなどははずしてください 又、化粧もしないでください	痛みが強いときはお知らせください (痛み止めを使います) 帰室後深呼吸をして下さい (肺炎予防のためです) 	手術後は腸閉塞になりやすいためその予防のためにも身体を動かすことが大切です			退院後の生活について説明します 		
		・必要物品の確認 バスタオルを1枚預かります ・印鑑を忘れずにお持ちください					診断書・証明書の必要な方は早めにお知らせください 入院費用、介護保険などのご相談はソーシャルワーカーが承ります			

(患者・家族)様サイン:

※入院時の診療計画ですので、患者様の病状や検査の都合で変更となる場合があります。ご不明な点は看護師へおたずねください。

健康保険 人吉総合病院 2008年8月改訂